様式第３号

富山県SDGs宣言実施状況報告書

令和　7年　4月　11日

企業・団体名 北陸コカ・コーラボトリング株式会社

代表者名　井辻 秀剛

富山県ＳＤＧｓ宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1　取組み期間　　令和　6年　4月　1日（宣言日又は令和6年4月1日）～令和7年3月31日

2　取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】 2030年までに、サスティナブル素材に100%切替え、新たな石油由来の原料を使用しない容器の完全導入
	【実施状況】 PETボトル容器をサスティナブル素材※1使用率が60%達成 （2021年5月から「コカ･コーラ」などの旗艦製品へ100%リサイクルPETボトルの導入） ※1サスティナブル素材：ボトルtoボトルによるリサイクルPET素材と、植物由来PET素材の合計
2	【目標】 地域社会とのつながりを大切にし、持続可能な地域社会づくりに貢献し続ける
	【実施状況】 ・水資源の保護活動「北陸コカ・コーラうるおいの森づくり」（植育・植林）を20年間継続して実施（延べ230名参加） ・地域の美化・清掃活動「北陸コカ・コーラグループ社員美化奉仕活動」を45年目の実施　（約800名が参加） ・地域ボランティアへの定期的な社員の参加（射水市：六渡寺海岸の清掃ボランティア等へ参加） ・北陸コカ・コーラプロダクツ砺波工場見学を再開し、新たに「アップサイクルを学べる体験コース」を継続して開催。 砺波工場から排出されるコーヒー残渣の有効活用を学び、廃棄予定であったものに手を加えることで価値のあるものに生まれ変わる事を体験していただき、知っていただく持続可能な学習に貢献。（昨年度参加者：130名） ・8月1日（水の日）には、地域の親子を募集し（40名）、アップサイクル体験や水の循環について学ぶ「スペシャル工場見学会」を開催。
3	【目標】 ダイバーシティー・インクルージョン、多様な社員がそれぞれの能力を十分に発揮できる職場環境の実現、障がい者への支援
	【実施状況】 ・障がい者雇用を継続的実施 ・男性育児休業の取得率100%を継続（2021年44%→2022年59%→2023年100%→2024年100%）：人事・上司・本人の三者面談実施 ・仕事と育児の両立支援（休業前、復帰前、復帰後における三者面談（上記同）およびメンタルフォロー実施） ・全肢連支援自販機の売上の一部を（一財）全国肢体不自由児者父母の会連合会の活動へ支援実施 ・職場における“LGBTQ+”への取組指標である「PRIDE指標」にて、最高評価である「ゴールド」を3年連続獲得。 ・「かなざわレインボープライド2024」に協賛・参加し、LGBTQについての基本的な解説や過去の歴史や、アライになるために必要な知識などをまとめた「LGBTQ＋アライのためのハンドブック」を配布。 また、ホームページに公開し無償でダウンロードし、何方でも利用できる環境を継続して実施。 ・働き方を見直し、テレワークの推進やフリーアドレス化し職場環境の改善を推進。

※宣言日（ウェブサイト掲載日）から３か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。